



ゾウ イェ トッ
ZAW YE HTUTさん

Tanigurogumi 株式会社 谷黒組 [土木部]

◆入社年度/2022年度 ◆資格取得日/2025年3月6日



事務作業



—今現在されている建設ディレクターの仕事内容を具体的に教えてください。

主にICT施工に関するデータ作成や工事書類の作成を担当しています。具体的には、TSによる現況測量やTLSによるレーザースキャンを行い、取得したデータを解析して点群データや3D設計データを作成しています。さらに、それらを基にCIMモデルの作成も行っています。また、施工計画書や施工体制台帳、安全書類などの工事書類の作成・整理を行い、現場が円滑に進むようバックオフィスから施工管理をサポートしています。

—残業はありますか。(ある場合その状況も教えてください)

基本的に残業はほとんどありません。日々の業務では作業の優先順位を整理し、できるだけ効率よく進めることを意識して、定時で帰れるように心がけています。繁忙期や提出期限が近い書類作成の際には多少残業することもあります。ICTツールやデータ活用によって業務の効率化を図り、できる限り無理のない働き方ができるよう工夫しています。

—建設ディレクターの資格を取った経緯を教えてください。(なぜ資格を取ろうと思ったのか)

現場で施工管理業務に携わる中で、書類作成やICTデータ作成などの業務をより専門的に担い、現場の負担を少しでも軽減できる存在になりたいと考えたことがきっかけです。建設ディレクターの資格を取得することで、現場と事務作業の橋渡し役として業務を効率化し、よりスムーズな施工管理を支えることができると思い、取得を目指しました。

—仕事をする中で感じるやりがい、反対に苦勞を感じているのはどのようなことですか。

ICT施工や3Dデータの作成を通して、現場の作業効率が向上したり、施工がスムーズに進んだりしたときにやりがいを感じます。自分が作成した3D設計データやCIMモデルが実際の施工に活用され、現場の判断材料として役立っていると実感できる瞬間はとても嬉しいです。

一方で、新しい技術やソフトウェアを扱う機会が多いため、常に知識を学び続ける必要があります。その点は苦勞することもあります。自分のスキルアップにつながる部分でも感じています。

—今後の夢や目標を教えてください。

今後は、ICT施工やCIMなどのデジタル技術をさらに活用し、現場の効率化や生産性向上により貢献できる建設ディレクターになることが目標です。また、海外の技術や考え方も取り入れながら、日本の現場との架け橋となり、より円滑な現場運営を支えられる存在になりたいと考えています。

